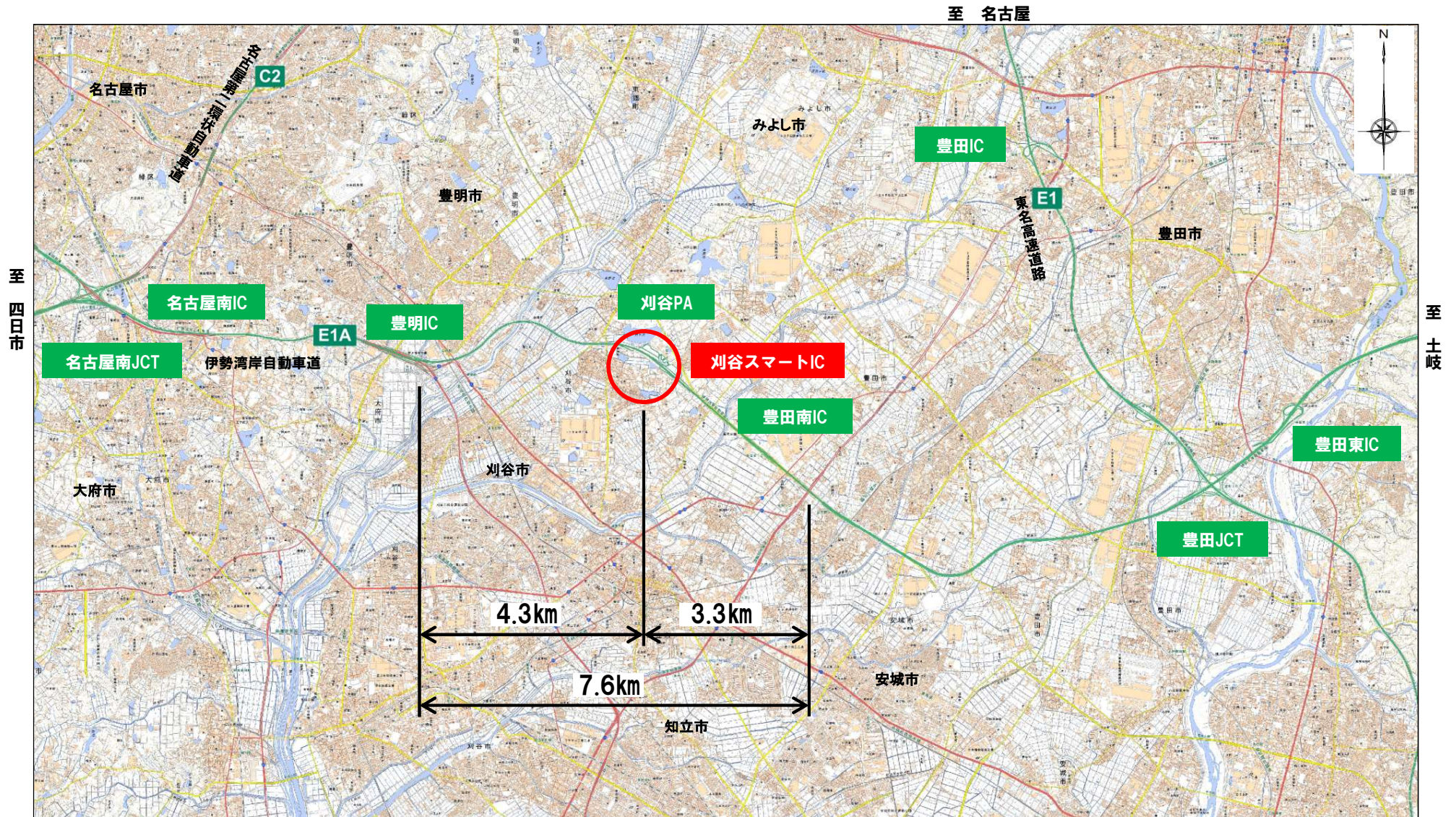


1. 路線名

[路線名]

第二東海自動車道横浜名古屋線(伊勢湾岸自動車道)

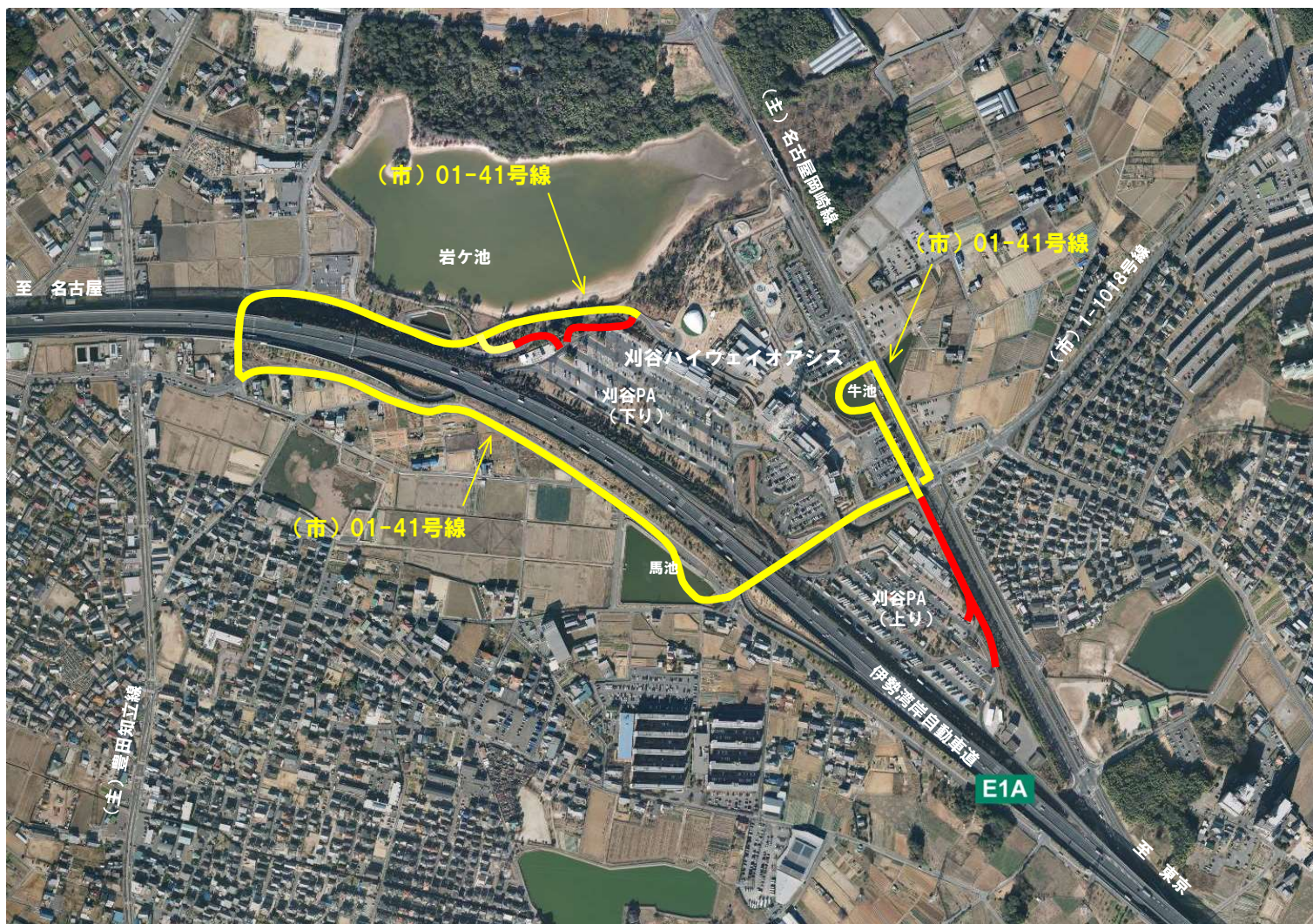


2. 連結位置及び連結予定施設

[連結位置] 刈谷市東境町

[連結予定施設] 上り線: 市道01-41号線

下り線: 市道01-41号線

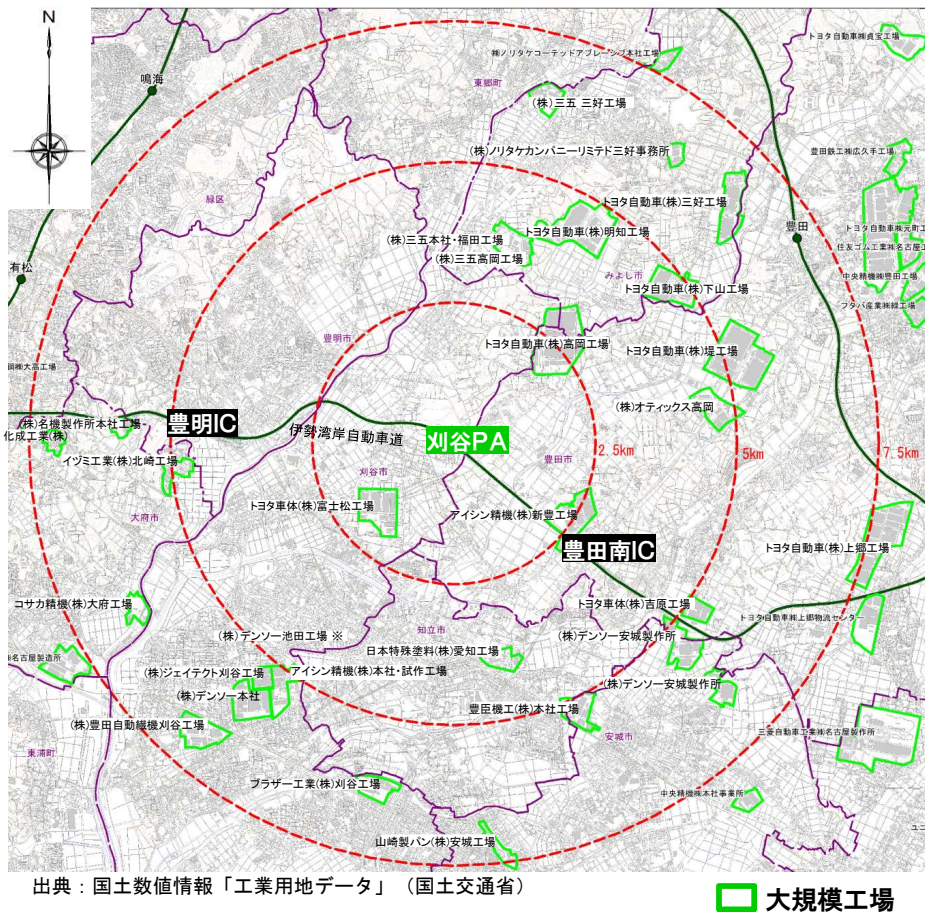


3. 連結を必要とする理由

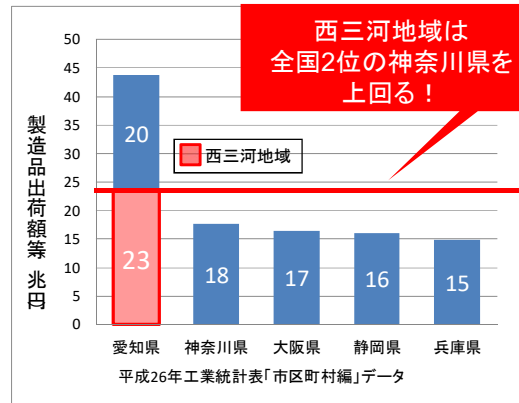
産業の生産性向上

- 西三河地域は自動車産業をはじめとしたものづくりの中心地であり、広い裾野を持つサプライチェーンを形成している。西三河地域の製造品出荷額は、全国2位の神奈川県を上回るとともに、ほとんどの市町が上位にランクする。日本の貿易黒字の約5割は輸送用機器(自動車産業等)であり、全国の約4割を占める愛知県において、その約8割を西三河で生産。
- 裾野の広い産業が雇用を生み、地域の活力となっており、地域の持続的な発展のために、更なる生産性の向上が必要。

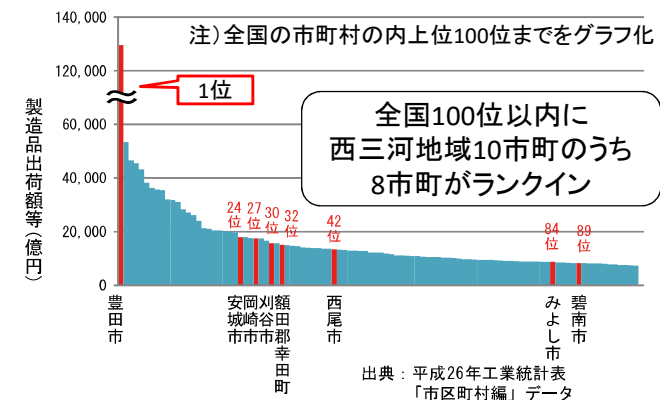
■ 刈谷PA周辺の大規模工場立地状況



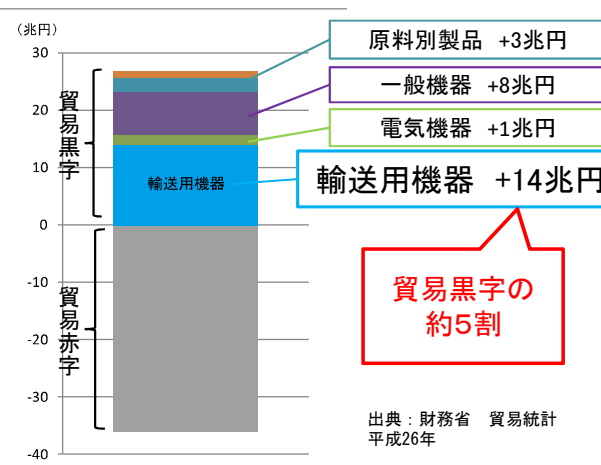
製造品出荷額等の都道府県ランキング(平成26年)



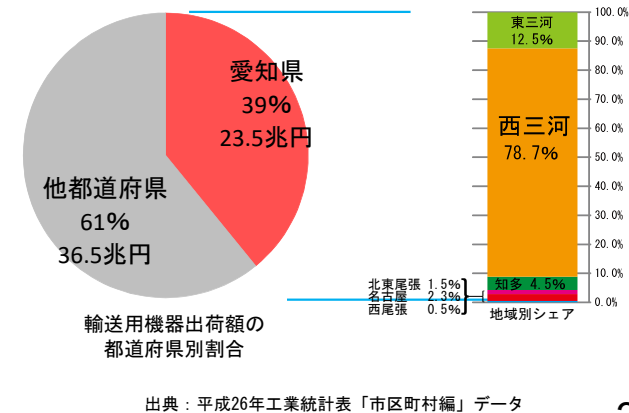
製造品出荷額等の市町村ランキング(平成26年)



日本の貿易黒字の約5割が輸送用機械



輸送用機器の出荷額のうち愛知県が全国の約4割を占め、その8割が西三河

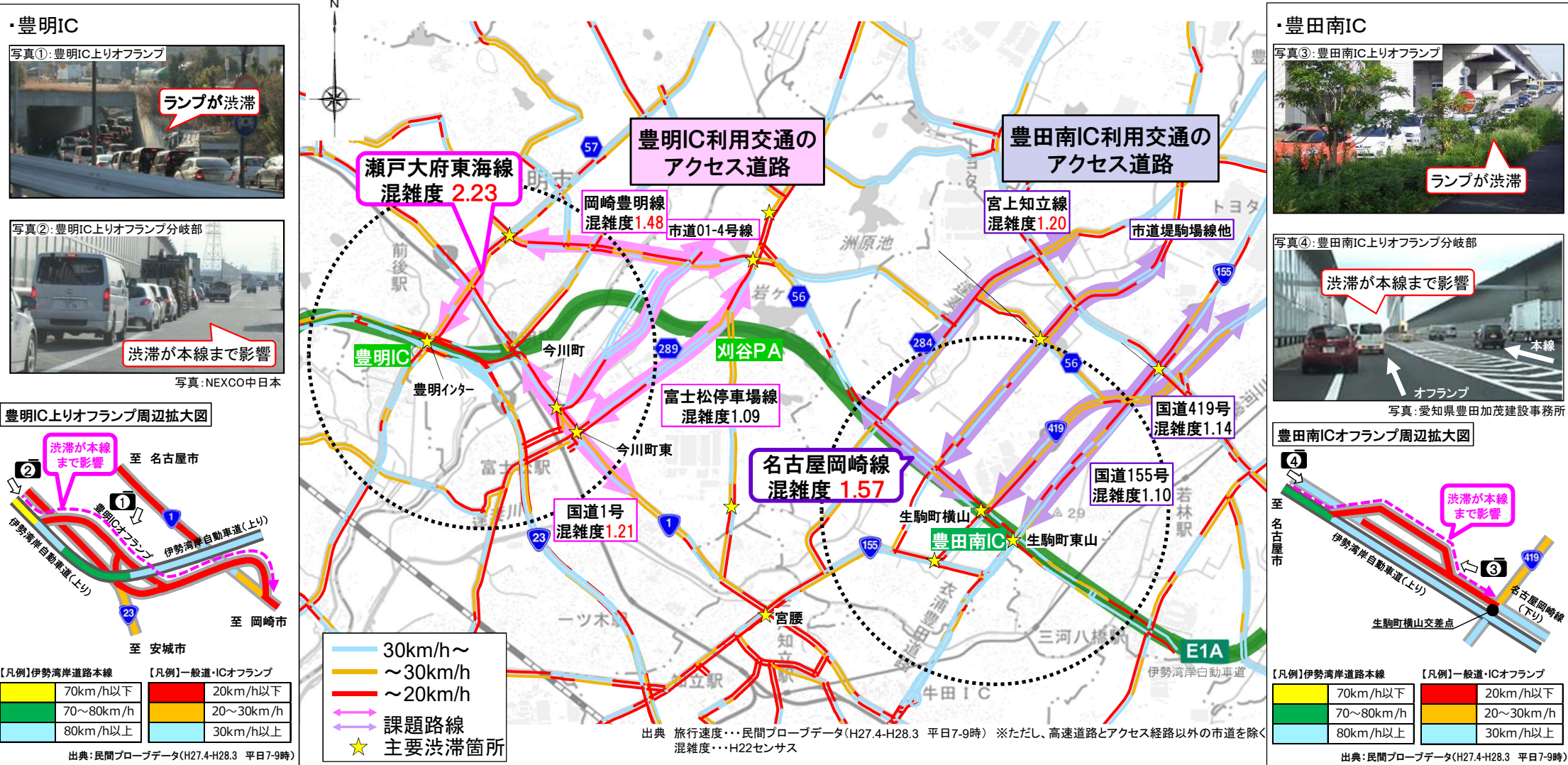


4. 連結を必要とする理由

交通渋滞への対応

■豊明ICおよび豊田南ICでは慢性的な渋滞が発生するとともに、周辺の幹線道路でも慢性的な渋滞が発生しており、渋滞の緩和が必要。

■刈谷PA周辺の速度状況(朝ピーク時)



5. 連結を必要とする理由

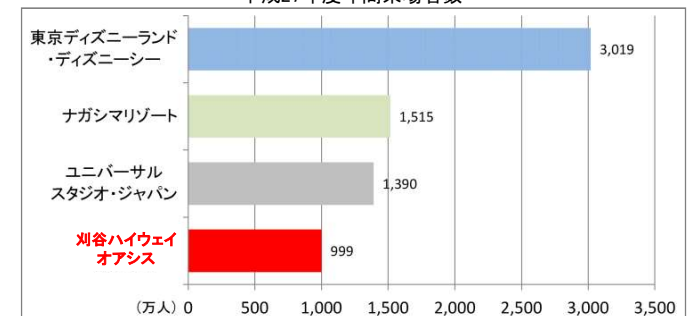
周辺地域の活性化・観光振興

- 刈谷ハイウェイオアシス周辺には自然豊かな観光地やレクリエーション施設が多数存在するが、観光客数が伸び悩んでいる。
- 1,000万人/年の集客力を誇る刈谷ハイウェイオアシスを起点とした回遊観光客の増加や新たな賑わいの創出による地域の活性化を図るため、各観光地・施設へのアクセス性向上が必要。

■ 刈谷ハイウェイオアシス周辺の観光施設立地状況



平成27年度年間来場者数



出典:レジャーランド&レクパーク総覧2017

6. 連結を必要とする理由

大規模災害への備え

- 刈谷ハイウェイオアシス周辺には、災害時の避難所等が多数存在。
- 刈谷ハイウェイオアシスは災害復旧時の輸送拠点に位置付けられており、高速道路との連結による防災機能の向上が必要。

■ 刈谷ハイウェイオアシス周辺避難所



■ 避難所

災害により住宅を失った場合等に一定期間避難生活をする場所。

■ 避難可能施設

災害の規模が大きい場合等に各地区の自主防災会が設置。

■ 救急告示医療機関

救急医療の知識や経験を持つ医師が常時診療しており、都道府県知事が認定した医療機関。(刈谷市内においては辻村外科病院と刈谷豊田総合病院の2箇所が指定されている。)

避難所

施設名	受入可能人数(人)
愛知教育大学	870
富士松北小学校	340
北部市民センター	50
富士松東小学校	360
富士松中学校	630

避難可能施設

施設名	受入可能人数(人)
井ヶ谷市民館	50
西境市民館	40
東境市民館	50

7. 連結を必要とする理由

刈谷スマートICの設置により

産業の生産性向上

○周辺に位置する日本を代表する大規模自動車工場から高速道路へのアクセス時間が短縮すること、また、物流コストが削減することで、これら自動車産業のサプライチェーン強化の支援につながる。

交通渋滞の緩和

○刈谷スマートICの整備により、工場エリアから高速道路までの経路が短縮、転換され、周辺幹線道路の利便性が向上する。

周辺地域の活性化・観光振興

○高速道路の利便性が向上し、周辺地域の活性化につながる。
○周辺地域観光資源へのアクセス性が向上し、観光振興につながる。

防災機能の強化

○高速道路から刈谷ハイウェイオアシス周辺の避難所等へ直接出入りが可能になり、救援物資輸送や救急活動の効率化につながる。

8. 計画交通量、供用予定時期

①計画交通量

刈谷スマートIC計画交通量(平成42年) : 4,900(台/日)

[推計条件]

- ODデータ : 平成17年度道路交通センサス将来OD(平成42年度)
- 配分手法 : 高速転換率併用配分手法
- ETC利用率 : 90%

②供用予定時期

供用予定時期 : 平成34年3月を目標とする。

9. 管理・運営形態

①運営形態：フルインター形式

②利用方向 I N：東京方面上り線、名古屋方面下り線
OUT：東京方面上り線、名古屋方面下り線

③運用時間：24時間

④対応車種：ETC車載器を搭載した全車種
(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)

※当該IC供用後も継続して、その社会便益、安全性、利用交通量、管理・運営形態について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す。

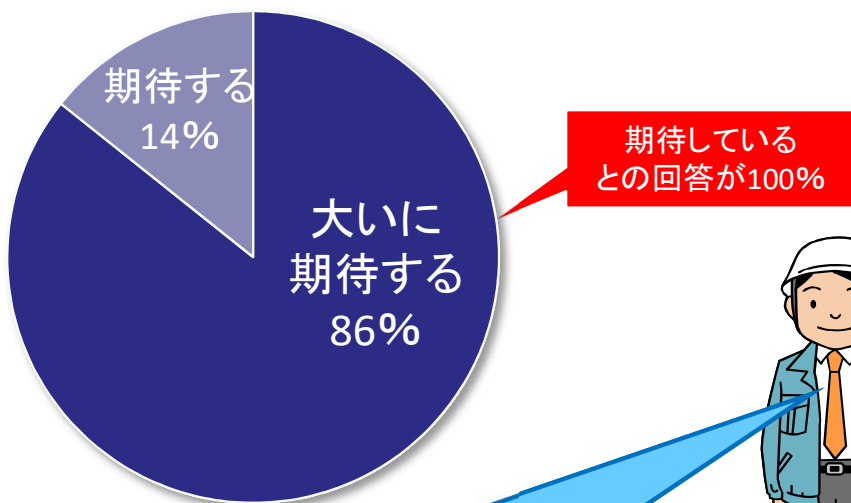
10. スマートICの設置により期待される整備効果

産業生産性の向上

■ 刈谷スマートICの整備により、周辺に位置する日本を代表する大規模自動車工場から高速道路へのアクセス時間が短縮し、これら自動車産業のサプライチェーン強化を支援。

周辺事業所からの期待

- 自動車関連企業へのアンケート調査では、刈谷スマートICの整備に対し、『期待している』との回答が100%
- 豊明IC、豊田南ICの渋滞緩和
- 交通が分散することにより県道、市道の渋滞緩和
- 定時性、信頼性の向上のほか、緊急時等のリダンダンシー確保などに期待



刈谷スマートICの整備に大いに期待します。豊明IC及び豊田南ICの渋滞が緩和し、定時性、信頼性の向上のほか、緊急時等のリダンダンシー確保を期待します。

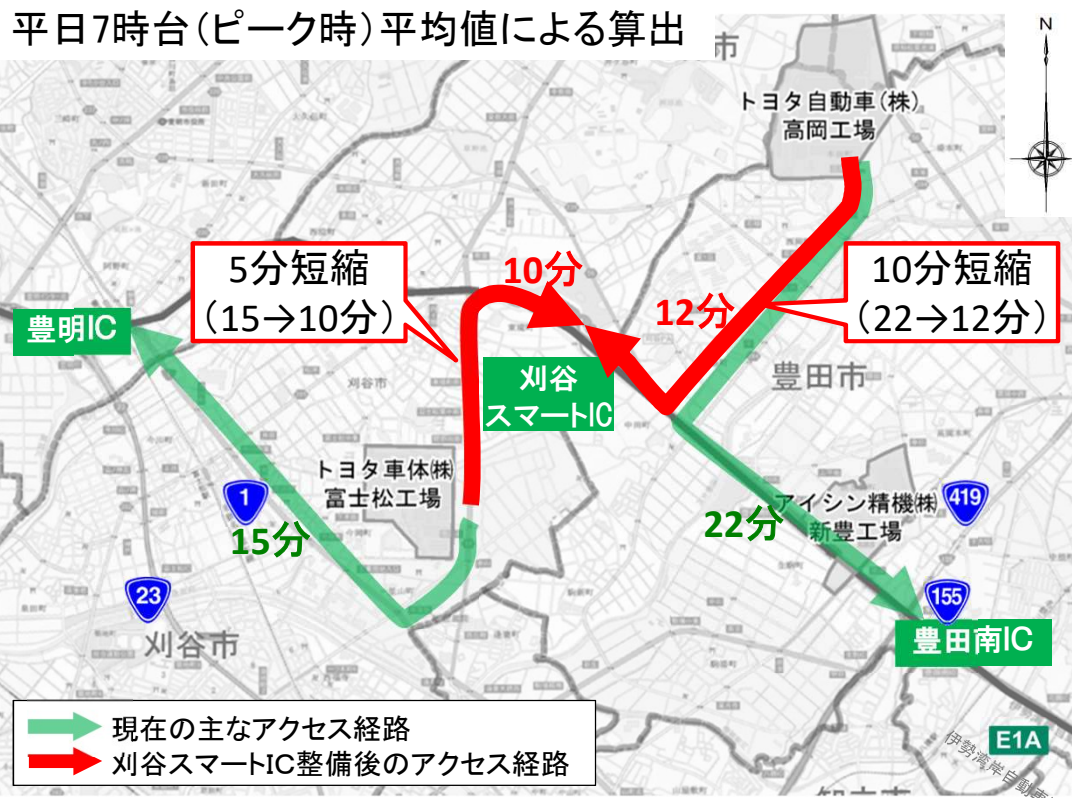
※平成26年度自動車関連企業へのスマートIC整備に対する意向結果



周辺工場の方

自動車産業のサプライチェーン強化を支援

- 周辺大規模工場からICへの所要時間短縮
- 刈谷スマートICの整備によって、周辺の大規模工場から高速道路へのアクセス時間の短縮が見込まれ、サプライチェーンの強化を支援する。



※平成27年度刈谷市旅行速度調査

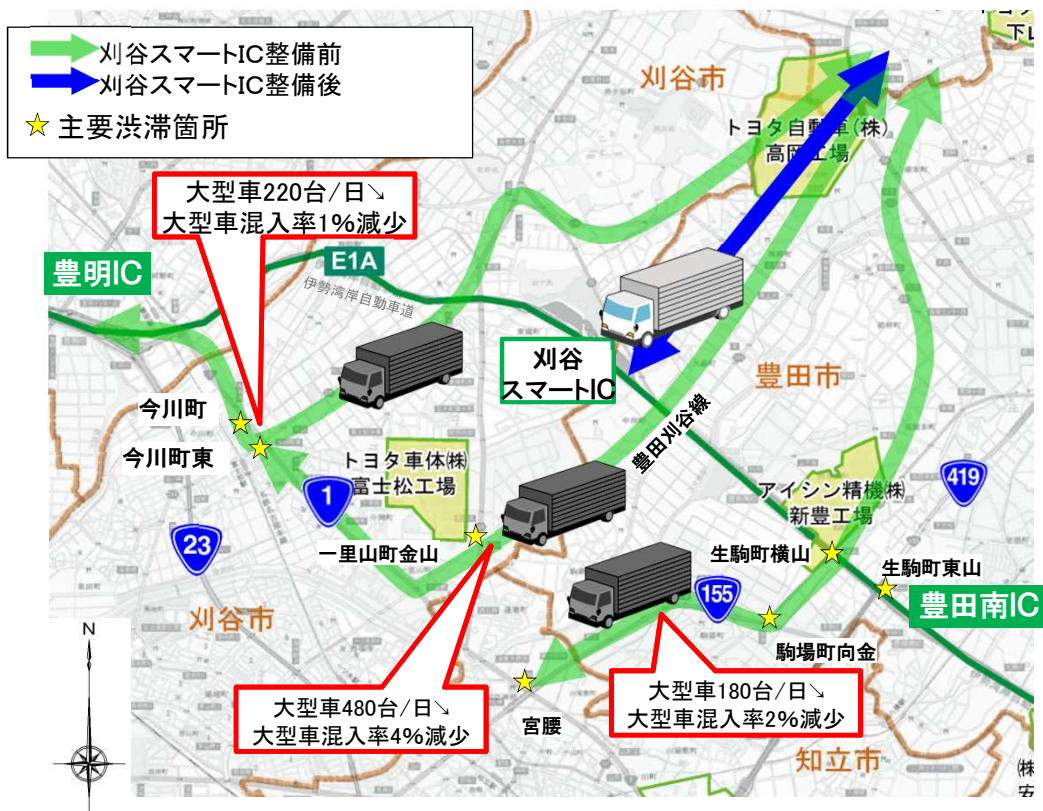
11. スマートICの設置により期待される整備効果

交通渋滞の緩和【幹線道路の利便性向上】

■ 刈谷スマートICの整備により、工場エリアから高速道路までの経路が短縮、転換され、周辺幹線道路の利便性向上に期待。

大型車の経路転換

- 刈谷スマートICの整備により主要渋滞箇所を通過する大型車交通の経路転換が期待
 - 幹線道路の利便性向上に期待。



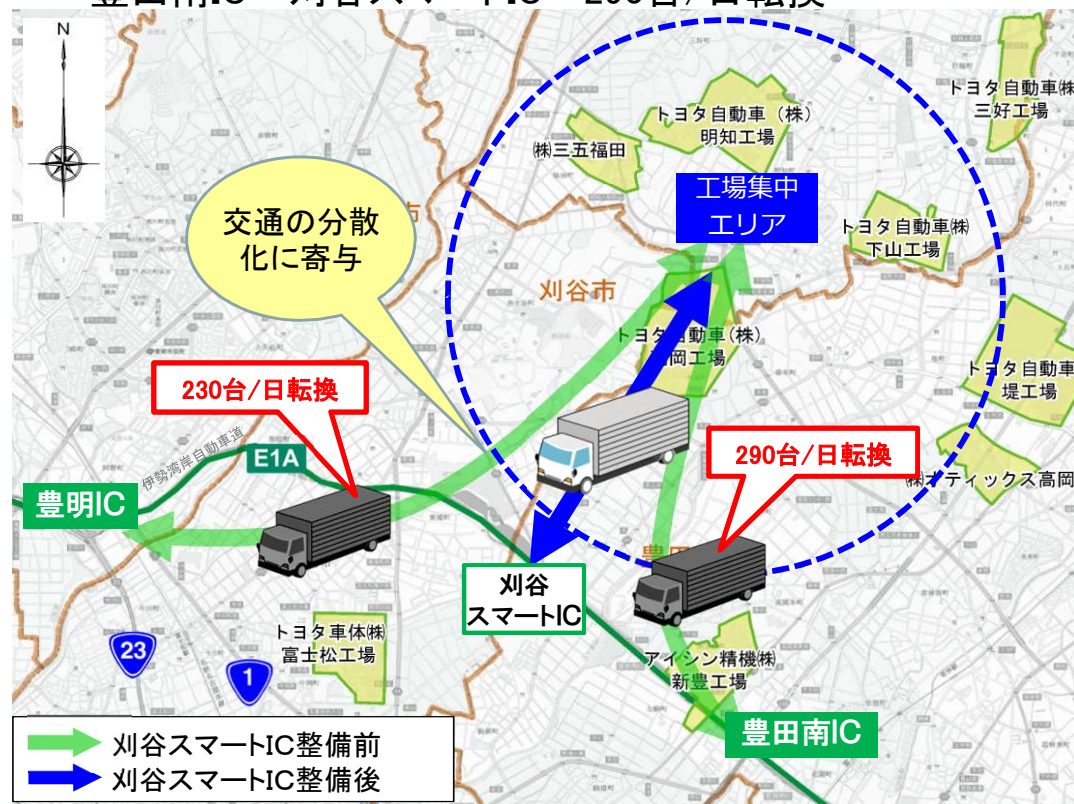
※平成42年度交通量配分による算出

工場集中エリア発生集中量の経路転換(例)

- 刈谷市北東部の工場集中エリアから利用ICが豊明ICや豊田南ICから刈谷スマートICへ転換し、周辺幹線道路の交通分散化に寄与。

豊明IC⇒刈谷スマートICへ230台/日転換

豊田南IC⇒刈谷スマートICへ290台/日転換



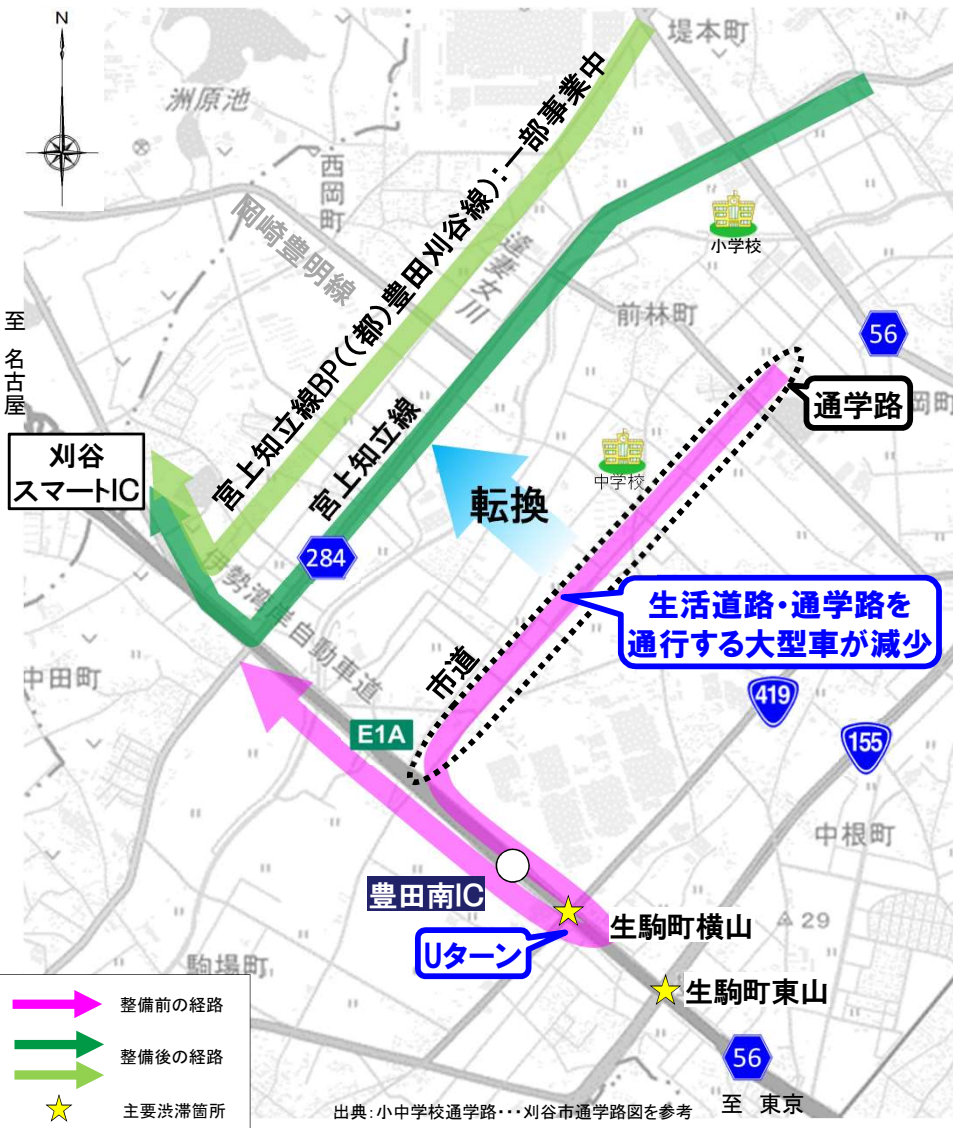
※平成42年度交通量配分による算出

12. スマートICの設置により期待される整備効果

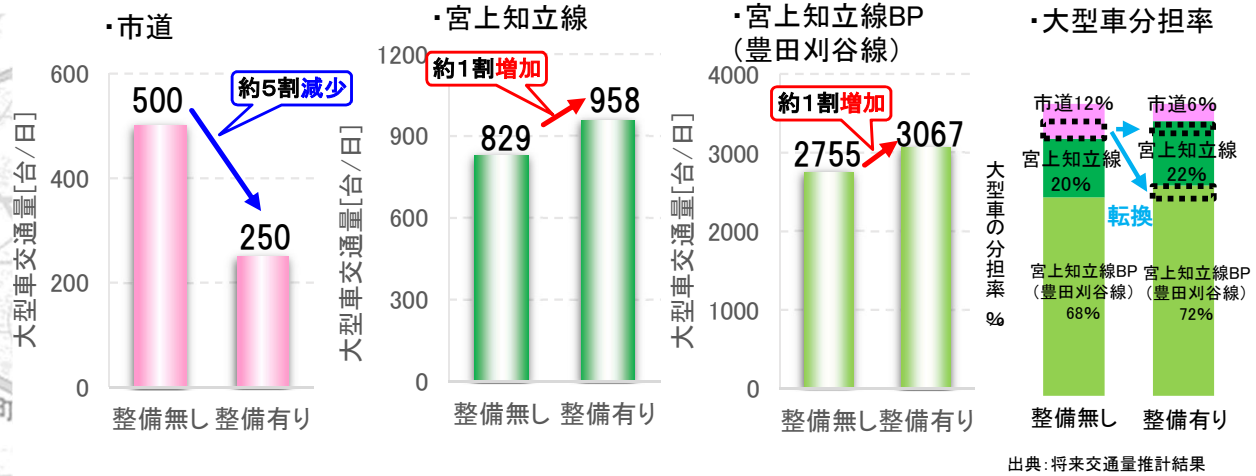
周辺住民の生活環境向上 【生活道路・通学路の道路環境の向上】

■ 豊田南ICから刈谷スマートICへの転換により、生活道路・通学路を通行する交通が宮上知立線および宮上知立線BPへ転換。大型車が約5割減少し、生活道路・通学路の道路環境の向上に期待。

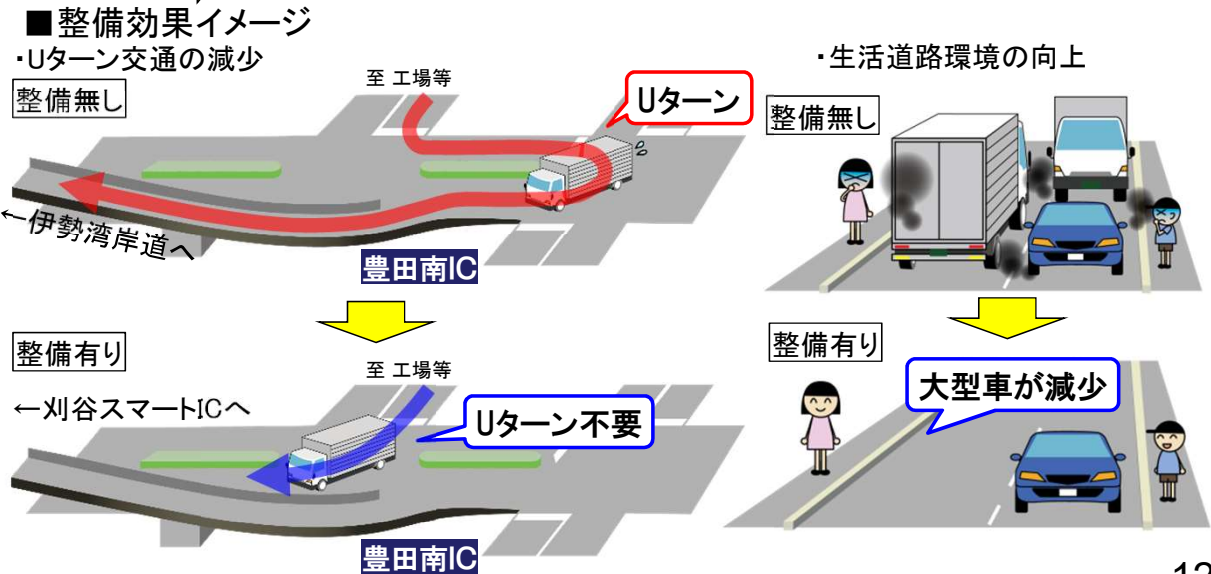
■ 刈谷スマートIC整備によるアクセス経路の変化



■ 大型車分担状況の変化



生活道路・通学路の大型車が減少、道路環境向上



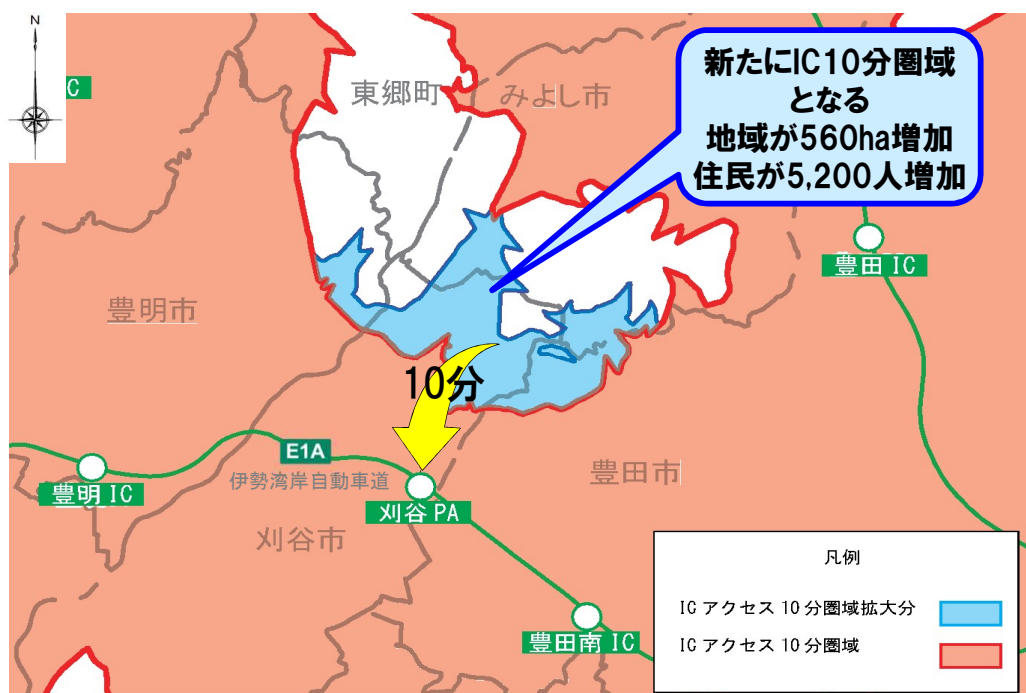
13. スマートICの設置により期待される整備効果

周辺地域の活性化

- 刈谷スマートICの整備により、高速ネットワークへの到達圏域が拡大し高速道路の利便性が向上。
- 周辺地域観光資源へのアクセス時間が短縮され、観光振興に期待。

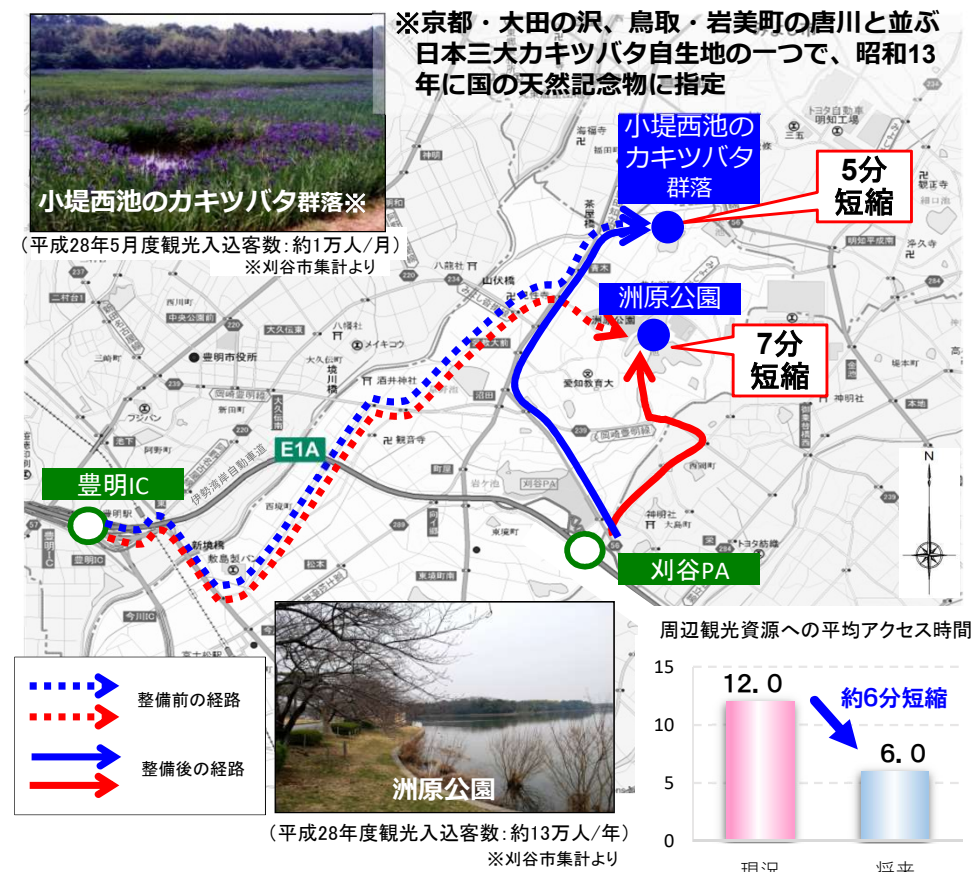
高速道路の利便性向上

- ICアクセス10分圏の増加
 - 新たにICアクセス10分圏域となる地域が約560ha増加。
 - 刈谷スマートICが、地域住民約5,200人にとっての最寄りICとなる。



観光振興

- 高速道路から主要観光資源へのアクセス時間短縮
 - 小堤西池※: 豊明IC11分⇒刈谷スマートIC6分(5分短縮)
 - 洲原公園: 豊明IC12分⇒刈谷スマートIC5分(7分短縮)

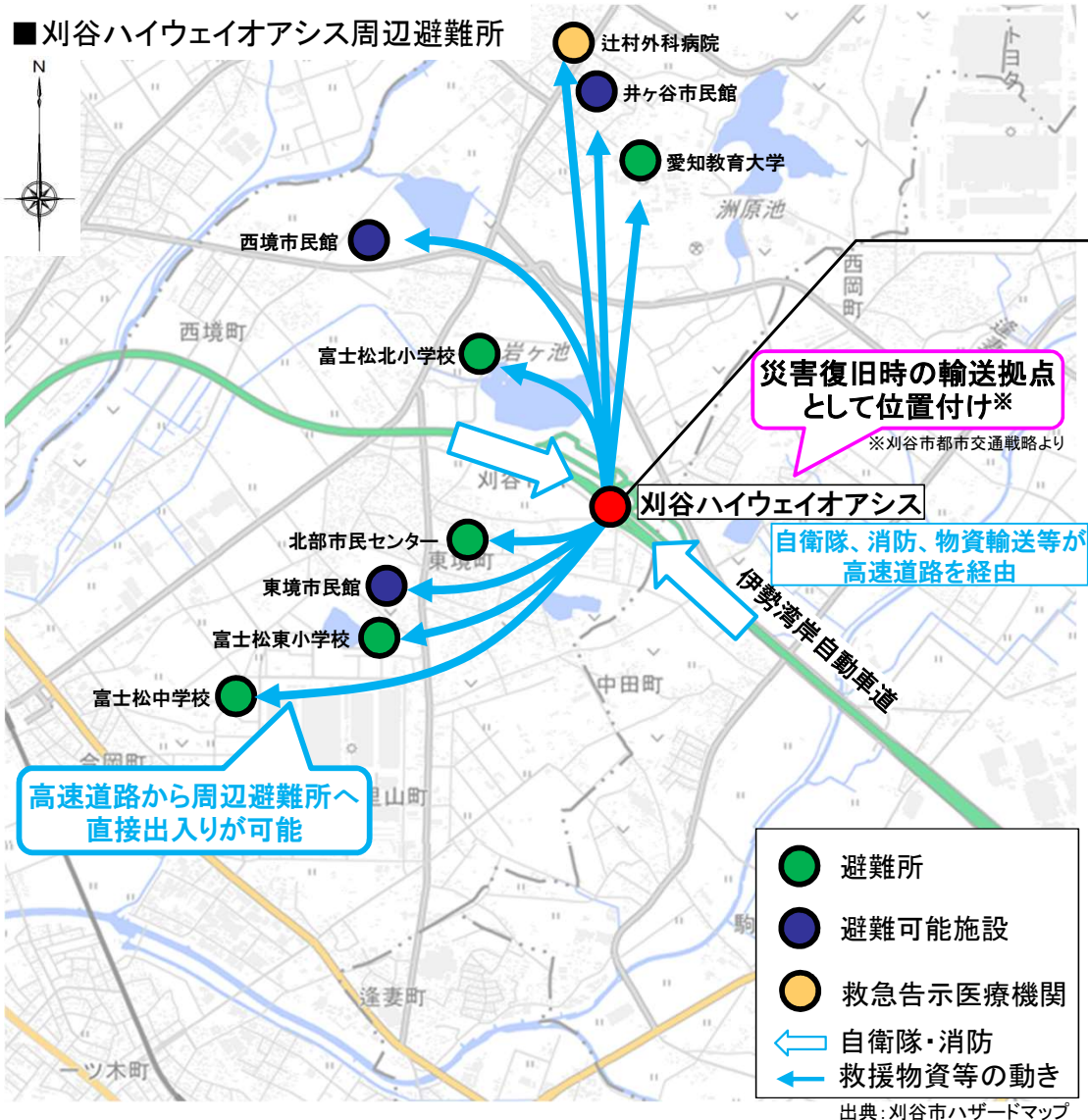


14. スマートICの設置により期待される整備効果

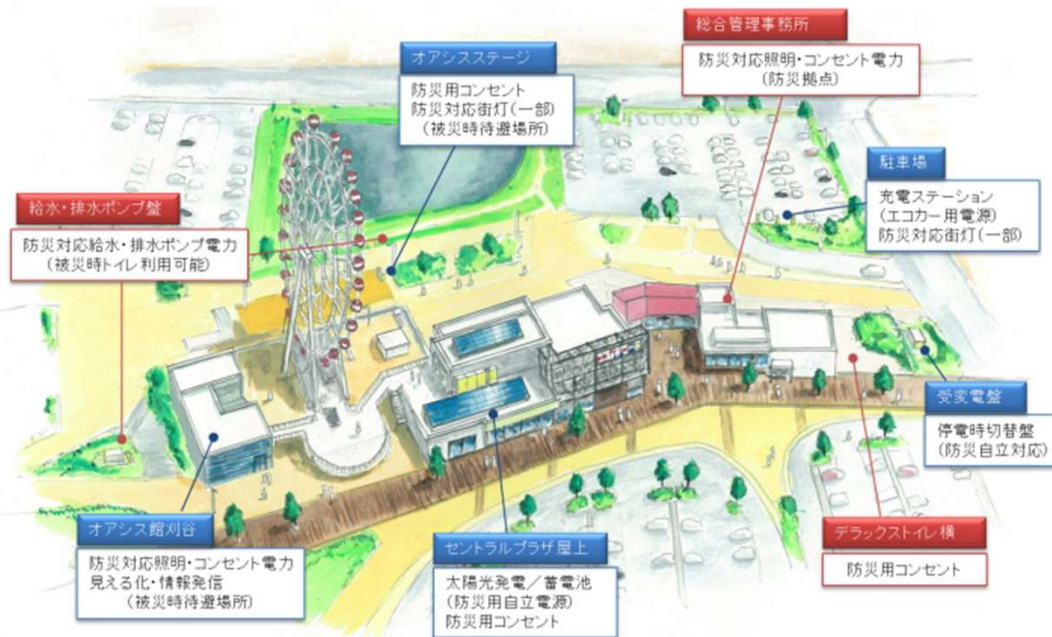
地域防災性の向上

○刈谷ハイウェイオアシス周辺には、災害時の避難所等が多数存在。

○刈谷スマートICの整備により、高速道路から刈谷ハイウェイオアシス周辺の避難所等へ直接出入りが可能になり、刈谷ハイウェイオアシスを拠点とした救援物資輸送や救急活動の効率化に期待。



刈谷市では、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」を活用し、刈谷ハイウェイオアシスに、太陽光発電システムの整備を実施済み



刈谷スマートIC整備後は、刈谷ハイウェイオアシスを拠点とした救援物資輸送や救急活動の効率化に期待

15. 社会便益

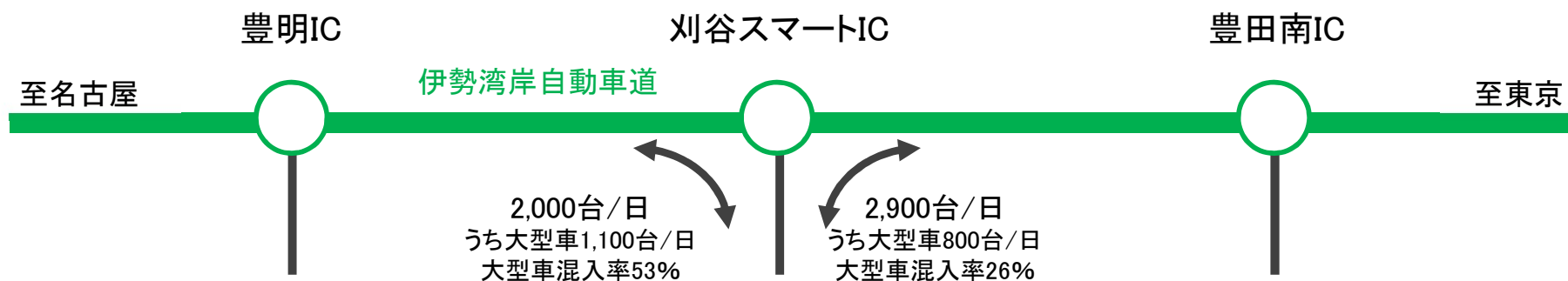
刈谷スマートICの設置により社会便益は下記の通りであり、スマートICの費用と比較し、十分な社会便益が確認される。

項目	内容	備考
走行時間の短縮等※	走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少	145億円
産業生産性の向上	高速道路へのアクセス時間の短縮、物流コストの削減	
周辺住民の生活環境向上	生活道路、通学路の道路環境の向上	
周辺地域の活性化	高速道路の利便性向上 観光振興	
地域防災性の向上	大規模災害時における救護活動を支援	

※金額は開通年から50年間の合計値を現在価値化したもの(税抜き)

16. 整備前後におけるスマートICとその前後の既設ICにおける出入交通量

○刈谷スマートICの設置により、その前後の既設ICを含めた出入交通量が3,400台／日増加する。



平成42年度

単位:台/日

	豊明IC	刈谷スマートIC	豊田南IC	合計
整備後	23,900	4,900	13,700	42,500
整備前	24,600	0	14,500	39,100
増減	▲700	4,900	▲800	3,400